

DICTIONNAIRE *des* TERMES TECHNIQUES et SCIENTIFIQUES

français-japonais

仏和理工学辞典

日仏理工科会編

仏和理工学辞典

第三版

DICTIONNAIRE
des
TERMES TECHNIQUES
et
SCIENTIFIQUES
français-japonais

白水社

仏和理工学辞典 第三版

¥ 5,500

1973年6月5日 第三版第1刷印刷
1973年6月20日 第三版第1刷発行

編者 © 日 仏 理 工 科 会
発行者 寺 村 五 一
印刷所 研究社印刷株式会社

発行所 東京都千代田区神田小川町3の24
電話東京(291)7811(代) 振替東京 33228 株式会社 白水社

郵便番号 101

松岳社製本

(分) 3585 (製) 00111 (出) 6911

第三版の序

1961年に最初の仏和理工学辞典を刊行して以来、15年近くの歳月が流れた。その間1964年に改訂増補版を刊行し、新たな年輪を加えたが、その後の科学技術の進歩は実に著しく、とりわけ原子力、宇宙、情報、海洋、公害などの大きな問題を提起するに至り、これらの分野の用語を加える必要が生じた。また、新たに薬学の分野の用語収録にも努めた。こうして1969年6月10日に第1回の仏和理工学辞典第三版刊行のための全体会議を開催し、以来4年の歳月を経て、ここに第三版を刊行する運びとなった。収録した用語も版を改めるごとに増加し、前回まで48,000語であったものに約12,000語が加わった。

第三版の編集はつぎのスタッフで行なった。

委員長 菊池 真一（写大，応用化学）

副委員長 井口 昌平（東大，生産研，土木）

委員 秋山峰三郎（元日本女子大，物理）

中野 稔（元早大，機械）

有吉 歌子（日大，理工学部，薬学）

江見正太郎（元金属鉱物探鉱促進事業団，探鉱）

また、新たに第三版刊行に加わっていただいた方々はつぎのとおりである。

高野 健三（理研，海洋）

植村 益次（東大，宇宙研，航空）

小林 昌敏（原研，原子力）

木村 昌夫（電々公社，建築）

佐々木 堇（時計）

吉山 良一（鹿児島大，地震）

本書はその名前のごとく理工学の広き範囲に亘っているが、医学および生物学は他の書に譲ってあまり多くの用語を採録していない。およそその範囲は、数学、物理、化学、生物、機械、鉄道、電気、情報、船舶、気象、天文、地震、冶金、航空、海洋、建築、土木、地質、鉱物、金属、探鉱、写真、印刷、溶接、鑄造、薬学などに亘っている。

本書では一般の仏和辞典でも見られるごく普通の語は省いた。したがって対応する字の所に普通の訳がないのに驚かれるかもしれないが、このような趣旨

によっているので、御諒承いただきたい。見出しの用語の選択の基準としては、名詞を主とし、形容詞、動詞などはなるべく少なくし、前置詞、副詞などは全くといってよいほど取り上げなかった。

訳語については各専門分野の用語委員会で決まったものを採用している。ところが各専門分野で決められた訳語の表記には、用字用語の上で不統一が見られ、不体裁に見える個所があるかもしれないが、いずれ他日、専門分野相互の統一を待って訂正してゆく考えである。

Grand Larousse Encyclopédique (1960~68) は常に本書の拠り所となった。ところがこの辞典においても、以前の版と現在の版とに文法上の性の表記の変更が少なからずあるのに驚いた。場合によってはフランスの大学の同僚に確かめる労を取った。字引を編集することがいかに至難であり気の長いものであるかを、今回もまた痛切に感じた次第である。

Kettridge の French English & English French Dictionary of Technical Terms & Phrases は本書刊行の目的に参考になる字引であった。新しいジャンルの学問では英語がそのままフランスの用語に採り入れられることも多いが、この場合もとくに文法上の性の決定がむずかしい。ドゴール大統領は国語尊重論者で、こういう言葉のフランス語訳をつくらせた。たとえば pipeline [油送管] という言葉に対応して oléoduc という言葉をつくりあげたのである。

本書の編集に最初の版から今回の第三版まで当たってみて、つくづく感じることは、こういう用語の辞典をつくるがいかにむずかしいかである。不満足のことが多いので、多くの方々の御叱正をたまわりたい。

1973 年 4 月

日仏工業技術会副会長
 仏和理工学辞典編集委員長

菊池真一

改訂増補版の序

1961年4月にこの『仏和理工学辞典』が白水社から発行されて以来、日仏間の科学技術交流が密になりその必要性が増したためであろう、初版は1963年秋にはほとんど売り切れてしまった。そこで増刷をするに当たり、初版以来の3年で新しく発展した方面もあり（原子力など）、初版において語の採録が他の部門より不充分であった部門（化学など）もあったので、改訂増補をすることにした。約1割の増補と改訂を行なった。

本書の改訂増補は初版に協力されたかたがたが主になって執筆された。前回の委員のうち加藤癸巳雄・山中繁の2氏が他界されたのは残念であるが、氏らの業績は本改訂版においても脈々として生きている。特に本版では中原勝儼・永井三郎・桑島謙臣・前田政昭の諸氏が活動された。また編集校正に当たっては中井恭子氏の協力があつた。最近日仏会館に科学関係のフランス人留学生が多く宿泊しているが、それらのかたがたのうち Dupuis, Sato 諸氏にもお世話になった。ここに感謝の意を表わしたい。

1964年12月

日仏理工科会幹事長
仏和理工学辞典編集委員長

菊池真一

初 版 の 序

日本とフランスの間の理工学方面の交流は第二次大戦後急に密接になった。多くのフランスの理化学書・技術書を読む機会が増したし、またフランスの科学者、技術者に接する機会も多くなった。その時普通の用語の仏和辞典をもっては用を足すことができない場合が多い。日仏医学会は1956年1月白水社より仏和医学辞典を出版されたが、理工学についても同様な辞典がほしいものであるという同社の希望で、1955年日仏理工科会常務理事菊池が会員にはかつて仏和理工学辞典編集委員会を組織し、その実現にとりかかった。菊池が1957年1月より1959年3月まで、パリにおいてパリ大学都市日本館館長として赴任していたので、この計画は大変遅延したが、帰国後委員諸君の熱心な御協力を得、また会員の一人飯田博子氏の献身的な奉仕によって、この辞典の編集を完成することができた。本書を編集して見ると、この仕事は多岐の専門にわたり大変難しいことだということがわかった。完璧なものを望むといつになっても完成しない。理工学の急激な進歩とともにどんどん用語が増してくるからである。そこで再版の際さらに落穂を拾ったり、また読者諸賢の御忠告によって訂正することにして、不満足ながらここに編集を終えることにした。

この期間に日仏工業技術会が生まれ、工業技術の面でも日仏の交流が増加したし、日仏理工科会は改組して非常に活潑な活動に入ることになり、本書の必要も一層大きくなったが、この両会およびフランス大使館文化参事官 Herly 氏、商務参事官 Viriot 氏、日仏会館館長 Capitant, Brochier 両氏等より物質的ならびに精神的援助を受けたことを深く感謝する。

1961 年 4 月

日仏理工科会幹事長
仏和理工学辞典編集委員長

菊 池 真 一

編 集 委 員

委員長 菊池真一 (写大・応用化学)
副委員長 井口昌平 (東大・生産研・土木)

委 員

赤間 八郎 (九大・統計数学)	佐々木忠義 (理研・海洋)
秋山峰三郎 (元日本女子大・物理)	†杉浦 義勝 (物理)
有吉 歌子 (日大・理工学部・薬学)	鈴木 宏 (国鉄・鉄道)
安藤 良夫 (東大・工学部・原子力)	高野 健三 (理研・海洋)
飯田喜四郎 (名古屋大・工学部・建築)	鶴見 策郎 (東京理科大・電気)
飯田 博子 (東工試・化学)	永井 三郎 (探鉱)
†稲村 耕雄 (化学)	中野 稔 (元早大・機械)
植村 琢 (元東工大・化学)	中原 勝儼 (立大・理学部・化学)
植村 益次 (東大・宇宙研・航空)	中村 和雄 (安川電機・航空)
上野 季夫 (元京大・天文)	中村 幸雄 (日本通信協力・電気)
江見正太郎 (元金属鉱物探鉱促進事業団・探鉱)	†服部 静夫 (植物)
大島康次郎 (東大・生産研・精密)	林 一道 (電気通信大・数学)
桶谷 繁雄 (東工大・冶金)	日高 敏隆 (農工大・動物)
河原 昭 (岡山大・鉱物)	舟久保熙康 (東大・工学部・精密)
†加藤葵巳雄 (機械)	本多 健一 (東大・生産研・化学)
木下 治雄 (元東大・動物)	前田 政昭 (前田進行堂・印刷)
木村 昌夫 (電々松社・建築)	町田 貞 (地理)
桑原 謙臣 (関西電力・原子力)	丸山 弘志 (国鉄・工作機械)
小林 昌敏 (原研・原子力)	松下 幸雄 (東大・工学部・冶金)
斎藤 信彦 (早大・理工学部・応物)	宮川誠之助 (関西学院大・化学)
定永 兩一 (東大・理学部・鉱物)	矢野健太郎 (元東工大・数学)
桜庭 信一 (気象庁・気象)	山口 千明 (日立造船・造船)
佐々木 薫 (時計)	山中 繁 (鉱山)
	吉山 良一 (鹿児島大・地震)

(† 印は物故された方)

理工学に関する二つの協会の役員は 1973 年現在つぎのとおりである。

Société Franco-Japonaise des Sciences Pures et Appliquées

日仏理工学会 東京都千代田区神田駿河台 2 の 3

日仏会館内 (291) 1141~43

顧問	柴田雄次・植村 琢
名誉会長	Bernard Frank
前名誉会長	Alexis Dellander
元名誉会長	Jacques Robert
会長	弥永 昌吉
副会長	今井 功・江上不二夫・渡辺武男・田村一郎
監事	山内恭彦・福原満州雄
幹事長	菊池 真一
幹事	林 一道・坂井光夫・本多健一・佐藤 正・野崎昭弘

Société Franco-Japonaise des Techniques Industrielles

日仏工業技術会 事務所上に同じ (291) 0240

名誉会長	Bernard Frank
顧問	柴田 雄次
会長	橋本 宇一
副会長	Georges Matray・Marc Depuis・Pierre Saint-Loup・ 菊池真一
常務理事	中村幸雄・鶴見策郎・膳 昭之助・舟久保熙康

凡 例

語彙の選定——本書では普通の語はできるだけ省いた。したがって、対応する字において、ごく普通の訳がなくて驚かれるかもしれないが、上の趣旨によっているから、諒解していただきたい。つぎに、名詞を主とし、形容詞、動詞などはなるべく少なくし、前置詞、副詞などは全然というほど採っていない。

訳 語——訳語は各専門分野で定まったものはこれによった。したがって、訳語表記の上で統一を欠く結果になったが、お許しいただきたい。特にどの専門が不明確のものに限り[天]、[生]のごとく専門別の指示を行なった。

配 列 方 法——語の配列は単語、熟語、略号を含めて第1番目の文字をアルファベット順にし、つぎに第2番目の文字をアルファベット順にとった。

例 **accouplement**
 ~ à articulation
 ~ d'aiguille
 ~ des aiguilles
 ~ de wagon
 ~ en cascade
 ~ hydraulique

のごとく、途中で複数形の *des aiguilles* もはいつている。
 複合形は一語とみなじた位置におく。

例 **batte**
 ~ à bourrer
 ⋮
batté
 ⋮
batte-plate
batterand

記 号

<i>f.</i>	nom féminin	<i>m.</i>	nom masculin
<i>lat.</i>	latin	<i>pl.</i>	pluriel
<i>adj.</i>	adjectif	<i>préf.</i>	préfixe
<i>adv.</i>	adverbe	<i>prép.</i>	préposition

- v.i.** verbe intransitif **v.t.** verbe transitif
v.pr. verbe pronominal

[] [] 内の文字・語を [] 直前のものに替える。

例 **tube en U [S]** → tube en U, tube en S
 U [S] 字管 → U 字管, S 字管

() i) () 内の文字・語は省略してよい場合

例 **appui(e)-tête** → **appui-tête** または **appui-tête**
 無線(通信)局 → 無線局, 無線通信局

ii) () 内の文字・語が説明文の場合

例 **table** テーブル(選鉱器の一種)
table porte-pièce (工作物をのせる)テーブル

・ 例 不安定度・性 → 不安定度, 不安定性
 ニコチン・タバコ中毒 → ニコチン中毒, タバコ中毒

/ 主として語順が隣り合っている場合
crocoïse / crocoïte → crocoïse または crocoïte

[数] 数学	[物] 物理	[化] 化学	[生] 生物
[機] 機械	[鉄] 鉄道	[電] 電気	[情] 情報
[船] 船舶	[気] 気象	[天] 天文	[震] 地震
[冶] 冶金	[航] 航空	[海] 海洋	[建] 建築
[土] 土木	[地] 地質	[鉱] 鉱物	[金] 金属
[採] 採鉱	[写] 写真	[印] 印刷	[溶] 溶接
[鑄] 鑄造	[薬] 薬学		

参 考 文 献

本辞典を編集するに当たって参考にしたおもな辞典類はつぎのとおりである。編者、出版社、出版年を可能なる限り付記した。

French-English & English-French Dictionary of Technical Terms and Phrases (1956), J. O. Kettridge, Routledge & Kegan Poul, London (1955).

Dictionnaire Anglais-Français-Allemand de mots et locutions intéressant la Physique et la Chimie, R. Cornubert, Dunod (1922).

Dictionnaire Chimique Anglais-Français, R. Cornubert, Dunod (1952).

Dictionnaire de termes commerciaux et techniques, R. Macquinghen, Dunod (1954).

Diccionario Técnico Poliglota, M. de Medeiros, Gomes & Rodrigues, Lisboa (1957).

Dictionnaire de fonderie rédigée par le Comité International des Associations Techniques de Fonderie (1955).

Dictionnaire de l'automobile, R. Guerber, Flammarion (1947).

Britten's Watch & Clock Maker's Handbook (1955).

Schlomann-Oldenbourg: *Illustrierte technische Wörterbücher*, Bd. 3, 7, 12, 13.

Dictionnaire Anglais-Français, Electronique, Physique Nucléaire, King, Dunod (1959).

Harrap's Standard French and English Dictionary, J. E. Mansion.

Eléments de Mathématique, N. Bourbaki, Hermann.

Vocabulaire Franco-Anglo-Allemand de Géomorphologie, H. Baulig (Publication de la Faculté des Lettres de l'Université de Strasbourg) (1956).

Traité de Géographie Physique, E. de Martonne, Armand Colin (1957).

Précis de Géomorphologie, M. Derruau, Masson (1956).

French-English Science Dictionary, L. de Vries, McGraw-Hill (1951).

Dictionnaire français-anglais, anglais-français des termes médicaux et biologiques, P. Lépine, Flammarion (1952).

- Dictionnaire aide-mémoire de botanique*, P. Lechevalier.
- Dictionnaire de la chimie et de ses applications*, C. Duval (1935).
- Dictionnaire de Chimie*, J. Fouchier et F. Billet (1953).
- French-English Dictionary for chemists*, A. M. Patterson (1954).
- Technologisches Wörterbuch, Deutsch-Englisch-Französisch*, Hoyer-Kreuter, Alfred Schlomann, Julius Springer, Berlin (1932).
- Technological Dictionary, English-French-German*, Hoyer-Kreuter, Alfred Schlomann, Julius Springer, Berlin (1932).
- Dictionnaire technologique, Français-Allemand-Anglais*, Hoyer-Kreuter, Alfred Schlomann, Julius Springer, Berlin (1932).
- Webel's Technical Dictionary German-English*.
- Technisches Wörterbuch, Französisch-Deutsch*, Lehmann, West-Ost-Verlag.
- Wörterbuch-Glossary-Lexique*, Troisième Conférence Internationale sur la préparation du charbon.
- Vocabulaire Electrotechnique International*, Commission Electrotechnique Internationale, Publication 50 (1941).
- Dictionnaire anglais-français des termes relatifs à l'électrotechnique, l'électronique et aux applications connexes*, H. Piraux, Editions Eyrolles (1955).
- Electricité de France: Documentation électrotechnique franco-anglais, Unités et Vocabulaire* (1955).
- Norme française NFC 1. Vocabulaire électrotechnique* (1944).
- Dictionnaire de la Radio*, J. Brun, Editions Albin Michel (1948).
- Technisches Wörterbuch für Post, Fernmeldetechnik und Rundfunk*, L. Bielfelds, Verlag KG. (Freiburg i. Br.) (1949).
- Technical terms in English, French, German, Swedish, Portuguese and Spanish used in Soil Mechanics and Foundation Engineering*, International Society of Mechanics and Foundation Engineering, Zurich (1954).
- Lexique général des termes ferroviaires*, Union internationale des chemins de fer, Editions Benteli SA, Berne (1957).
- Elsevier's dictionary of building construction in four languages*, Van Mansum, C. J., Elsevier Publishing Co., Amsterdam, London, New York, Princeton (1959).
- Wörterbuch der industriellen Technik, Bd. IV: Französisch-Deutsch*,

- Richard, Ernst, Brandstetter Verlag, Wiesbaden (1956).
- Lexique technique français-anglais et anglais-français concernant le matériel de travaux publics*, Institut Technique du Bâtiment et des Travaux publics, Paris (1949).
- Le Vocabulaire technique international de l'ingénieur*, La Houille Blanche (1951/1955).
- Vocabulary of Mechanics (Mechanics of Fluids)*, A. T. Troskolanski (1967).
- Dictionnaire Multilingue de la Machine-Outil*, E. Wüster (1968).
- A Glossary of French-English, English-French Foundry & Metallurgical Terms*, British Cast Iron Research Association (1959).
- Welding Dictionary, French-German-Spanish-English*, R. H. Thompson & G. Haim (1950).
- Austin M. Patterson, *A French-English Dictionary for Chemists*, J. Wiley & Son, 2nd edition (1954).
- Glossaire internationale d'hydrologie*, 2^e édition provisoire, Unesco-OMM (1969).
- Elsevier's Dictionary of Computers, Automatic Control and Data Processing*, Elsevier Publishing Company, Amsterdam, London, New York (1971).
- Elsevier's Dictionary of Hydrogeology*, Elsevier Publishing Company, Amsterdam, London, New York (1969).
- Vocabulaires des barrages*, édition révisée — 1970, Commission internationale des Grands Barrages, (1970).
- Dictionnaire Médical*, Springer / Huber (1969).
- Dictionnaire français de médecine et de biologie*, Masson et Cie (1970).
- Vocabularium pharmaceuticum*, Helbing & Lichtenhahn (1964).
- Grand Larousse encyclopédique*, (1960-68) (y compris le supplément).
- Dictionnaire professionnel illustré de l'horlogerie, Français-Allemand-Anglais-Espagnol*, G.-A. Berner, Chambre suisse de l'Horlogerie, La Chaux-de-Fonds (1961).
- International Dictionary of Metallurgy, Mineralogy, Geology, Mining and Oil industries*, in four languages English-French-German-Italian compiled by Angelo Cagnacci Schwicker. Technoprint International Milano in association with McGraw-Hill Book Co. N. Y. Reprint (1970).

World Mining International Glossary of Technical Terms English-Svenska-Deutsch-Français-Español, Volume No. 1 May 1968, published by World Mining, 500 Howard Street, San Francisco, California, United States.

A dictionary of mining, mineral and related terms, compiled and edited by Paul W. Thrush and the Staff of the Bureau of Mines, U.S. Department of the Interior (1968).

Aide-Mémoire Dunod, Mines par Y. Muller Tome I. II., 61^e édition entièrement nouvelle Dunod, Paris (1964).

R. Peele: *Mining Engineer's Handbook* 3rd ed. John Wiley and Sons. *French-English & English-French Dictionary of Technical Terms and Phrases* (1969), J. O. Kettridge, Routledge & Kegan Poul, London Vol. I & II.

その他一般的の辞典としてはつぎの如きものが便利に利用された。

Larousse du XX^e siècle, 6 vols. 1928-33, Suppl. (1953).

Dictionnaire encyclopédique Quillet, 6 vols. (1948).

Dictionnaire usuel Quillet-Flammarion (1956).

Dictionnaire de la langue française, Littré et Beaujean (1929).

Nouveau petit Larousse illustré (1958).

Dictionnaire des Sciences, Uvarov, E. B. & D. R. Chapman, Presses Universitaires de France, Paris (1959).

La Grande Encyclopédie, Librairie Larousse (1971-).

Le Petit Robert, dictionnaire alphabétique et analogique de la langue française, Société du Nouveau Littré (1970).

Petit Larousse illustré, 1973, Librairie Larousse (1972.)

Larousse Trois Volumes en couleurs, Librairie Larousse, Paris.

Nouveau Petit Larousse en couleurs, Librairie Larousse, Paris (1969).

Cassell's French Dictionary, Cassell & Co.

日本の参考書としてはつぎのものを使用した。

文部省 学術用語集； 物理学編，化学編，機械工学編，動物学編，植物学編，土木工学編，採鉱冶金学編

鋳物用語辞典 日本鋳物協会編・日刊工業新聞社 (1957)

自動車用語集 工業標準用語調査会編・日本規格協会 (1954)

航空学辞典 木村秀政監修・地人書館 (1959)

理化学辞典 第三版 岩波書店

- 理 科 年 表 丸善・東京天文台編
- 原子力用語辞典 紀伊国屋書店・松本朝雄他・日英仏露
- 標準電気用語 電気学会編・コロナ社 (1956)
- 電気工學術語解説 尾本義一・本城巖編・電気之友社 (1940)
- 電気工学ハンドブック 電気学会編 (1954)
- 岩波生物学辞典 山田・前川・江上・八杉編
- 鉱山技術用語辞典 日本石炭協会
- 化学語彙 日本化学会編 (1938)
- 仏和医学辞典 白水社 (1956)
- 鉄鋼用語辞典 6国語対照 (1956) 日本鉄鋼連盟
- 航空用語 帝国飛行協会
- 地学辞典 古今書院 (1925)
- 鉱業用語辞典(独和英) 日本石炭協会 (1961)
- 石油鉱業用語集 石油技術協会 (1967)
- 岩石鉱物学辞典 木下亀城編 風間書房 (1971)
- 地学事典 平凡社 (1970)
- 地学辞典 改訂版 I. II. 古今書院
- 石油鉱業便覧 石油技術協会 (1963)
- 試錐ハンドブック 日本石炭協会 (1958)
- ハイゼ・ヘルプスト・フリッチェ: 採鉱学 上・下 石炭綜合研究所 (1956)

A

A, a m. イ音.

A アンペア(ampère); アルゴン(argon) (1957年まで).

Å オングストローム(angström).

a 年(année); アール(are).

a- préf. 無- の意味.

Aastr 太陽年(année astronomique).

Asid 恒星年(année sidérale).

Atrop 回帰年(année tropique).

abacule m. モザイクタイル, モザイクガラス.

abaissement m. 低下, 沈下.

~ **de couche** [採] 盤下げ, 炭層の沈下・沈降.

~ **de la nappe souterraine** 地下排水工法.

~ **de la température** 温度降下.

~ **de point de fusion** 融点降下.

~ **des voies** 盤下げ; [採] 盤打ち.

~ **du point de congélation** 凝固点降下, 氷点降下.

~ **du sol** 地盤の掘下げ.

~ **moléculaire** モル降下.

abaisser (v.t.) une équation 方程式の次数・階数を下げる. 「す.

~ **une perpendiculaire** 垂線を下ろ

abandon (m.) d'un wagon [鉄] 廃車にすること.

abandonner v.t. (切羽・坑道などを)放棄する, 廃坑にする.

~ **pendant la nuit** 夜中放置する.

abaque m. 計算図表; 算盤; [建] 頂板, 柱頭と梁の間におく板.

~ **par alignement** ノモグラフ.

abatage m. = abattage.

abatant m. 欄間窓; (洋風腰掛便器の)揚蓋; (机の)折りたたみ甲板.

abatis m. 石くず, 取りこわし石材.

abat-jour m. 天窓, 室内側の額縁を斜めに切広げた窓; 電灯の笠.

abat-son(s) m. (鐘塔の窓につける)反響板.

abatage m. 採鉱, 採炭, 採掘 (= abatage).

~ **à ciel ouvert** 露天掘り.

~ **à gradin droit** 下向階段掘り.

~ **à la poudre** 発破採掘.

~ **d'arbre** 伐採.

~ **en carrière** 採石 (石切場・採石場における採掘).

~ **en grand** (トンネル工事・坑道の)切広げ, 追切り.

~ **latéral** = ~ en grand.

~ **par explosifs** 火薬による採掘.

~ **par tranchée** 溝採掘 (採炭法の一つ).

~ **par tranches** スライシング採掘.

abattement m. (木材・石材断面の)切欠き. 「着.

abatteur m. 採鉱夫, 採炭夫, 先山, 伐採
abattoir m. 屠殺所.

abattre v.t. 採掘する, 掘削する; 伐採する.

abattu (adj.) en sève (木材が)冬期以外の季節に伐採された.

abat-vent m. (煙突などの)陣笠, ひさし.

abat-voix m. 声をよく通すため演席の上におく響板.

abscisse f. = abscisse.

abdomen m. 腹部.

abdominal, e, aux adj. 腹(部)の.

abée f. (水車を回さないときの)放水路, (水車に水を引く)水路.